

Osaka Metro まちさんぽ

本町駅

60分
コース

御堂筋線・中央線・四つ橋線 本町駅

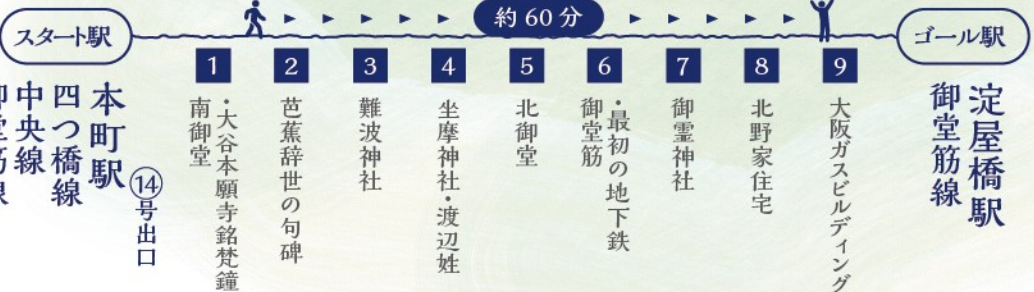
本町・船場の中樞

御堂さんの鐘の音が聞こえるところ

江戸時代の船場商人は「御堂さんの鐘の音が聞こえるところに店を構える」のが悲願で、それが成功のステータスでした。
御堂筋を南北に歩きながら、船場の人たちが尊崇した寺社を訪ねます。



此附近芭蕉翁終焉ノ地



大阪の大動脈の御堂筋は、江戸時代は北御堂と南御堂を結ぶ細い参詣道でした。二つの御堂のほか、船場の守護神・御霊神社や、古代から摂津に根を張った武家・渡辺党の氏神である坐摩神社、世界無形文化遺産「文楽」ゆかりの難波神社などを巡ります。

新型コロナウイルス 感染拡大防止のために
 ●体調が優れない場合のご参加はお控えください。 ●マスク着用の上、他の方と2m程度距離を空けてご参加ください。
 ●混んでいる時間帯を避け、会話を控えめにしてお参加ください。

本町駅

60分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

御堂筋線・中央線・四つ橋線 本町駅

本町・船場の中核

御堂さんの鐘の音が聞こえるところ

江戸時代の船場商人は「御堂さんの鐘の音が聞こえるところに店を構える」のが悲願で、それが成功のステータスでした。御堂筋を南北に歩きながら、船場の人たちが尊崇した寺社を訪ねます。

スタート駅

約 60分

ゴール駅

御堂筋線・中央線・四つ橋線本町駅 ⑭号出口

御堂筋線淀屋橋駅

1 南御堂・大谷本願寺銘梵鐘



真宗大谷派難波別院が正式名です。文禄4年(1595)に秀吉から寺地を寄進されて教如上人が大坂・渡辺の地(天満橋の西あたり)に大谷本願寺を建立。その後、慶長3年(1598)に現在地に移転しました。大谷本願寺銘の梵鐘があります。「御堂さんの屋根の見えるところ、鐘の聞こえるところで暖簾をはる」のが船場商人の夢でした。

2 芭蕉辞世の句碑

元禄7年(1694)に俳聖・松尾芭蕉が大坂にやってきて体調を崩し、南御堂近くの花屋仁右衛門の貸座敷で客死しました。南御堂には辞世の句「旅に病んでゆめは枯野を かけまわる」の句碑があります。終焉の地の碑は御堂前の御堂筋にあります。



3 難波神社

反正天皇が天帝・仁徳天皇のために創建したと伝えられる由緒ある神社で、このあたり一帯に広がる難波村の鎮守社でした。江戸時代後期から境内で植村文楽軒が人形浄瑠璃の「稲荷の芝居」を始めました。文楽ゆかりの地として「稲荷社文楽座跡」の碑があります。



4 坐摩神社・渡辺姓



坐摩神社は、神功皇后が三韓征伐から帰還した際に淀川河口の渡辺の地に坐摩神を祀ったことがはじまりとされています。大坂城築城のときに現在地に遷座しました。江戸時代には門前市が立ち、古着屋に人気があって、船場が繊維の町として発展するきっかけになったといわれています。境内社・繊維神社はその名残です。かつて神社地を渡辺町といいましたが、町名変更後も「久太郎町4丁目渡辺」という表記で残りました。全国の渡辺・渡部姓の発祥地で歴代の宮司さんも渡辺姓です。

5 北御堂

浄土真宗本願寺派津村別院です。織田信長と石山合戦で和睦したあと、石山本願寺を退去した門徒衆は、その後、秀吉から天満に寺地の寄進を受けて坊舎を建設し、そこから慶長2年(1597)に津村(園江)の現在地に移りました。



6 御堂筋・最初の地下鉄

北と南の御堂を結ぶ御堂筋は、江戸時代には幅3間(5.4m)の狭い道でしたが、関一市長が大坂の大動脈として道路を拡張し、同時に地下鉄を建設するという決定をしました。「2階建て工事」として注目された難工事でしたが、地下鉄は昭和8年(1933)に梅田・心齋橋駅間が開通し、御堂筋は昭和12年(1937)に完成しました。御堂筋沿いのビルは高さ百尺(約30m)に制限され、現在は50mへと緩和されましたが、美しい都市景観を保っています。



7 御霊神社



古代、このあたりは国江と呼ばれる大阪湾の入江になっていて、天皇即位祭祀の八十島祭を執り行っていた祠が神社のはじまりだとされています。江戸時代には御寮人(ごりょんさん=商家の若奥様)と語呂が合っていることから民衆に親しまれ、山片蟠桃、緒方洪庵、福沢諭吉も参拝しました。明治17年(1884)に「御霊文楽座」ができ、船場商人の社交の場として賑わいました。その碑が建っています。

8 北野家住宅



木造3階建の民家ですが、大阪大空襲であたり一面が焼け野原になったとき、大阪ガスビルディングと北野家住宅だけは罹災せず、奇跡の家といわれました。国の登録有形文化財です。

9 大阪ガスビルディング

昭和初期のモダニズム建築を代表するアール・デコ様式の建物で、設計者は安井武雄。「都市建築の美の極致」と称賛されています。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2022年5月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの(ガイド付きまち歩き)については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<http://www.osaka-asobo.jp> または [大阪あそ歩](#) で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。

※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。

ご案内

※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄

